

献 辞

伊藤達雄教授は、1963年9月三重大学に着任され、1996年3月に定年退官されるまでの32年7ヶ月の間、学芸学部、教育学部、人文学部および大学院人文社会科学研究科で地理学、経済学、地域経済論の講義・演習を担当され、多くの有為の人材を世に送られた。

この間、教授の務められた学内外での役職は枚挙にいとまがない。学内では学部長、評議員、学外では国土審議会、運輸審議会、産業構造審議会、学術審議会の特別委員・専門委員、県・市の審議会委員など、国・自治体・公的団体での役職は数十に及ぶ。それらのうち、とりわけここで記しておかねばならないのは、昭和50年代半ばから数年にわたった人文学部創設責任者としてのお仕事であろう。行政改革たけなわであったが見事に新学部設置を果たされ、初代学部長も務められた。教授はわが学部の生みの親である。

ご専門は都市・地域構造の理論的計量的研究で、1965年には東京教育大学から理学博士の学位を授与された。三重大学に着任されてからは中京地域をフィールドに実証的研究にも取り組まれ、その成果を地域の発展のために生かす新しい領域の開拓に尽力された。また文部省在外研究員として滞米されたあと、シカゴ大学客員準教授、ホフストラ大学準教授を歴任されるなど国際的なご経験も豊富で、内外で多くの業績をあげてこられた。

一方、教授はスポーツマンでもあって、三重大学では着任されてすぐに学生達とヨットを自作して三重大学ヨット部の基礎をつくれ、以後もご退官まで部顧問としてチームを何度も東海地区優勝に導かれた。

今後の益々のご健勝と一層のご活躍をお祈りしたい。

本号は、伊藤教授退官記念号として企画編集された。ここに心から感謝の念をこめて、本論文集を教授に捧げる。

1996年3月

三重大学人文学部長
廣瀬英一